



2026 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 ロ ジ ザ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 金 澤 茂 則
(コード番号：4391 グロース)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 三 浦 英 彦
(TEL. 03-5643-6228)

共通デジタル荷札「Bit Waybill (ビットウェイビル)」のサービス開始に関するお知らせ

当社は、本日 2026 年 10 月 21 日より、深刻化するドライバー不足による運送力の低下など、運送業界が抱える課題への対応を目的として、ブロックチェーンを活用した共通デジタル荷札「Bit Waybill (ビットウェイビル)」(以下、本サービス)の提供を開始いたしますので、お知らせいたします。

1. 本サービス開始の背景と目的

当社は、2001 年の創業以来、クラウド型倉庫管理システム (WMS) のパイオニアとして、現場のオペレーションに寄り添ったサービス展開を信条としており、主力製品である「ロジザード ZERO」を主軸とした約 2,000 の物流現場の効率化支援を行なっております。現在は年間 1 億件を超える出荷オーダーを処理し、日々顧客の出荷業務を支援しております。

2024 年問題以降、深刻化するドライバー不足による運送キャパシティの逼迫、企業ごとに分断された運送情報が物流の非効率を生み、共同配送・幹線輸送の実現が困難な状況になっております。倉庫側が運送に貢献できることはないかと、倉庫と運送がデータシームレスになるアイデアを考えてまいりました。

本サービスは、ブロックチェーン技術を活用し、企業ごとに管理されていた運送情報を物流業界横断的につなぎ、荷札情報を共通基盤化することで、フィジカルインターネットに望まれる共同運送や幹線輸送の実現を支え、物流業界のサステナブルな未来を目指すことを目的としております。ブロックチェーンならではの参加者のフィードバックを重視して基盤の改善に反映し、様々な物流効率化のアイデアが実現出来るフラットで公共性の高いサービスを目指してまいります。

2. 本サービスの概要

本サービスは貨物ごとに共通 ID を発番し、ブロックチェーン※¹上で NFT ※²として管理します。これにより、複数企業間でもデータの真正性・唯一性を維持したまま、安全に物流情報を共有することが可能になります。また、運送履歴や更新情報を時系列で保持することで、高いトレーサビリティも実現します。本サービスは API 連携を前提として設計されており、WMS、TMS、配送管理システムなど、Web アプリケーションとの柔軟な連携が可能です。当社は本サービスが管理する荷札情報を、共創型プラットフォームを通じて提供することで、既存アプリケーションでの利用拡大、新しいサービスやアプリケーションのアイデアを実現したい企業の皆さまとともに、フィジカルインターネットを構築し、運送業界に貢献していきたいと考えております。

技術基盤には、ぷらっとホーム株式会社 (6836) が開発した「ThingsToken ™※³」が採用されており、従来の金融系ブロックチェーンとは異なり、物理資産 (モノ) をデジタル空間で安全かつスムーズに扱えるよう設計されています。

より詳細な情報につきましては、別紙のプレスリリースをご参照ください。

- ※1：ブロックチェーンとは、取引履歴を暗号技術で鎖のようにつなげて記録し、データの改ざんを防ぎながら安全に管理する技術です。
- ※2：NFT（Non-Fungible Token）代替不可能なトークン。「トークン」とはブロックチェーンから発行される電子的な証明書のこと。
- ※3：「ThingsTokenTM」は、現実世界の資産をブロックチェーン上に仮想化できるトークンシステム及びその技術。現実世界の資産（RWA：Real World Asset）のモノや設備・デバイス群を仮想化することで、Web2の世界をWeb3の世界へ結び付け、現実資産に関連したトークンエコノミクスを加速します。ThingsTokenTMはぶらっとホーム株式会社の登録商標です。

3. サービス提供を開始する時期

2026年10月21日

4. 今後の見通し

本サービスによる2027年6月期業績への影響は、2026年8月12日公表の業績予想に織り込み済みでございますが、「[事業計画及び成長可能性に関する資料](#)」に記載の通り、Bit Waybill 事業は投資フェーズにあるため△75百万円の営業損失を計画し、全体では前期とほぼ同水準の営業利益となる見込みです。翌年度以降の業績への影響は精査中ですが、中長期的に当社の企業価値向上に資するサービス提供であると考えており、進捗状況に応じて今後の業績に重要な影響を及ぼす可能性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上

報道関係者各位

2026 年 10 月 21 日
ロジザード株式会社
(証券コード：4391)

共通デジタル荷札「Bit Waybill」正式提供開始 フィジカルインターネット実現に向け、参加企業を募集

ロジザード株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：金澤茂則、以下ロジザード）は、2026 年 5 月に構想を発表した共通デジタル荷札「Bit Waybill（ビットウェイビル）」の開発を完了し、正式提供を開始いたします。

共通デジタル荷札「Bit Waybill」サービスサイト：<https://www.bitwaybill.jp/>

A promotional banner for Bit Waybill. The top half has a dark blue background with white text. On the left, it says '共創型物流データプラットフォーム' (Co-creative Logistics Data Platform) above 'Bit Waybill®'. Below this, in a small white box, is '共通デジタル荷札 ビットウェイビル' (Common Digital Bill of Lading Bit Waybill). On the right, white text reads: '荷主と輸送がもっと歩み寄って' (Shipper and transport move closer), '貨物がつながる' (Cargo connects), 'ドライバーがつながる' (Drivers connect), '運送会社がつながる' (Transport companies connect), and '物流を変える、全員で変わる。' (Change logistics, everyone changes). The bottom half of the banner features three photographs: a warehouse worker in a blue uniform and cap looking up, a driver in a blue uniform at the wheel of a truck, and the back of a truck with its cargo door open, showing stacked cardboard boxes.

物流を変える、全員で変わる。

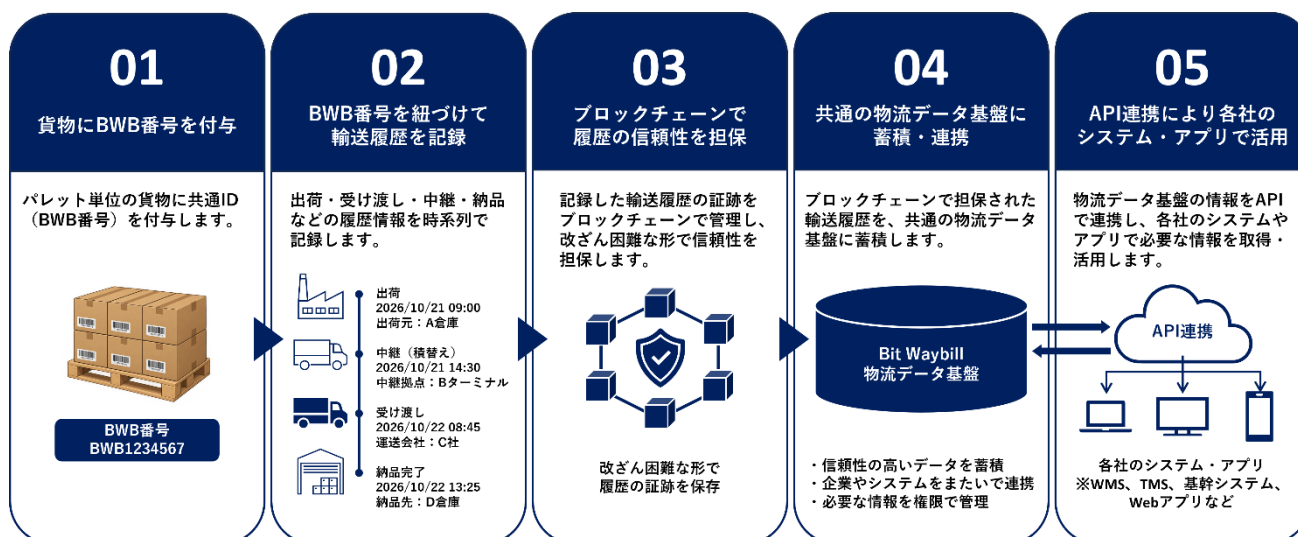
物流業界では輸送力不足が深刻化しています。その課題は単なるドライバー不足ではなく、輸送力が十分に活用されていないことにもあります。

Bit Waybill は、企業の垣根なく運送情報を共有する「共通デジタル荷札」を提供します。分断されていた運送情報をつなぐことで、貨物・ドライバー・運送会社がつながる物流の仕組みづくりを支援するとともに、フィジカルインターネットの実現に貢献していきます。

Bit Waybill の仕組み

Bit Waybill から発行された共通 ID を起点に貨物の履歴を管理、活用できるようにすることで、企業の垣根を越えて輸送力のシェアを支援します。

1. 貨物に共通 ID である BWB 番号を発行し、BWB 番号を既存の荷札情報と紐づけ。
2. BWB 番号に紐づけて、出荷・受け渡し・納品などの輸送履歴を記録。
3. 記録した輸送履歴の証跡をブロックチェーンで管理。
4. ブロックチェーンで担保された輸送履歴を共通基盤に蓄積。
5. API 連携により各社システム・アプリで必要な情報を取得・活用。



Bit Waybill の活用で実現できること

Bit Waybill は共通 ID である BWB 番号を起点に運送情報をつなぐことで、企業ごとの物流課題に応じた活用を可能にします。自社内での情報管理から、企業間連携による共同輸送まで、幅広い用途で利用できます。

1. 共同輸送

複数企業で運送情報を共有し、積載率向上や輸送力の相互活用につながる共同輸送を支援します。

2. 中継輸送

運送情報を共通化することで、中継輸送における運送会社間の連携を円滑化。長距離輸送の分担を容易にし、ドライバーの負担軽減を支援します。

3. 荷物情報の一元管理

メーカー直送品と自社倉庫出荷品に共通 ID である BWB 番号を付与することで、配送会社や輸送経路の違いを問わず、荷物情報の一元的な管理を支援します。

4. 納品情報連携

荷主企業・運送会社・倉庫事業者間で納品情報を共有し、業務効率化と情報連携の高度化を支援します。

5. 物流効率化法対応に向けた現状把握の効率化

Bit Waybill で輸送情報を一元管理し、物流改善の課題分析や中長期計画策定に必要なデータを把握できます。

Bit Waybill に参加するメリット

運送情報がつながることによって生まれる価値は、参加企業の立場によって異なります。Bit Waybill は、それぞれの企業が抱える課題解決と新たな可能性の創出を支援します。

荷主企業

- ・ 物流コストの最適化
- ・ 将来も安定して運べる物流体制の構築

運送会社

- ・ 積載率向上・空車削減
- ・ ドライバー負担の軽減

アプリベンダー

- ・ データ連携を活用した新たなサービス創出
- ・ 荷主企業・物流事業者との連携機会の拡大

私たちは、より多くの企業にご参加いただくことで活用の幅を広げ、物流業界全体の課題解決につなげていきたいと考えています。

Bit Waybill への参加企業・活用アイデアを募集しています

現在、多くの企業・団体の皆さまからお問い合わせをいただいております。具体的な活用に向けた検討や取り組みが進んでいます。私たちは、Bit Waybill の参加企業を広げていくことで、フィジカルインターネット実現に向けた基盤づくりを進めていきたいと考えています。

また、Bit Waybill を活用したアイデアや取り組みに関するご相談も随時受け付けています。「こんな活用はできないか」「自社の課題解決につなげられないか」など、ぜひご相談ください。

“物流を変える、全員で変わる。”

皆さまの Bit Waybill へのご参加をお待ちしています。

Bit Waybill への参加、サービスについてのご相談は、下記よりお問い合わせください。

共通デジタル荷札「Bit Waybill」サービスサイト：<https://www.bitwaybill.jp/>

<会社概要>

■ ロジザード株式会社

クラウド在庫管理システムのリーディングカンパニー。「物流×在庫×IT」で現場改善に貢献します。倉庫の在庫を管理するクラウド WMS「ロジザード ZERO」に加え、店舗の在庫を管理する「ロジザード ZERO-STORE」を提供。企業の抱える在庫に関わる課題解決を支援してまいります。

名 称：ロジザード株式会社（証券コード：4391）

代表者：金澤 茂則

所在地：本社／東京都中央区日本橋人形町三丁目 3 番 6 号

大阪営業所・秋田開発センター・横手開発センター

設 立 : 2001 年 7 月 16 日

事業内容 :

- ・ SaaS (クラウドサービス) 事業
- ・ 情報システムの開発及び販売
- ・ 物流業務・小売業務コンサルティング

URL : <https://www.logizard.co.jp/>

<技術協力について>

ロジザードは、2025 年 2 月よりぷらっとホーム株式会社と共同で、ブロックチェーン技術を活用した物流 DX の研究を進めてきました。「Bit Waybill」は、ロジザードの物流ノウハウと、ぷらっとホーム株式会社が提供する非金融 RWA 技術「ThingsToken™」を活用して実現した共同研究の成果です。ThingsToken™を技術基盤として採用することで、物流情報を安全かつ効率的に管理し、企業間で共有できる仕組みを実現しています。

ThingsToken™の詳細については、サービスサイト (<https://things-revolution.co.jp/>) をご覧ください。

■ プらっとホーム株式会社

代表者 : 代表取締役社長 鈴木 友康

所在地 : 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F

設 立 : 1993 年 3 月 23 日

URL : <https://www.plathome.co.jp/>

※ 本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、登録商標または商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

ロジザード株式会社 Bit Waybill プロジェクトチーム

お問い合わせフォーム : <https://www.logizard-zero.com/bitwaybill/contact/index.html>